



市大キャラクター
『ヨッチー』

アジア・豪州の研究者と温暖化対策を議論 気候変動対策に関する国際ワークショップを開催

横浜市立大学は、2009年に、アジアの主要大学から構成される学術ネットワーク「アカデミックコンソーシアム（IACSC）※」を創設し国際共同研究や教育交流を推進しています。このたび、インドネシア・フィリピン・マレーシア・ベトナム・オーストラリアの研究者を横浜に集め、気候変動対策に関する国際ワークショップを開催します。

昨今、地球規模の気候変動から生じる降水量の増大、渇水などの異常気象が市民生活や経済活動に影響を与える可能性が指摘されています。本ワークショップでは、アジア各国の気候変動リスク分析や軽減策について最新の研究成果を互いに共有することにより、今後発生し得る問題の予測や有効な対策立案に向けた知見を集約し、アジアの都市問題解決に貢献することを狙いとします。

【プログラム概要】（使用言語：英語・通訳なし）

日時： 2018年3月5日(月) 9:30～17:30（9:00 受付開始）

テーマ： IACSC Workshop for Mitigation and Adaptation Measures to Build Climate Resilient Cities in Asia（アジアにおける気候変動対策に関する国際ワークショップ）

会場： 横浜市立大学 金沢八景キャンパス『YCU スクエア』4階 401号教室

主催： 横浜市立大学 グローバル都市協力研究センター

【スケジュール】（プログラム詳細は裏面を参照）

時間	内容
9:00-9:30	受付
9:30-10:00	開会挨拶、参加者紹介
10:00-11:00	基調講演① アジアにおける気候変動の影響と対策 基調講演② 適応のための気候予測－科学とその役割、そして協働
11:00-12:00	研究報告① アジアにおける気候変動の影響評価－日本、インドネシア
13:00-14:50	研究報告② アジアにおける気候変動の影響評価－日本、フィリピン
15:10-17:00	研究報告③ 自治体の取り組みと政策－日本、ベトナム、マレーシア
17:00 -17:30	総括、閉会

（※）アカデミックコンソーシアム（IACSC:International Academic Consortium for Sustainable Cities）アジアの都市と大学が協働して都市課題の解決をめざす大学間ネットワーク。「環境」「まちづくり」「公衆衛生」の分野で、国際ワークショップの開催、共通教育プログラムの実施、研究者・学生交流等を展開しています。

〔メンバー大学：ハサヌディン大学（インドネシア）・マレーシア科学大学・ベトナム国家大学・フィリピン大学・タマサート大学（タイ）〕

ワークショップの取材が可能です。ご希望の方は下記へご連絡ください。

お問い合わせ先

グローバル推進室担当課長 森谷 章子 Tel 045-787-2423

裏面あり

国際ワークショッププログラム

テーマ： アジアにおける気候変動対策に関する国際ワークショップ (IACSC Workshop on Research Cooperation for Mitigation and Adaptation Measures to Build Climate Resilient Cities in Asia)

日時/場所： 2018年3月5日(月) 9:30-17:30 (受付開始 9:00)
横浜市立大学金沢八景キャンパス YCU スクエア 401号教室

スケジュール：

1. 開会・基調講演	
09:00 - 09:30	受付
09:30 - 10:00	開会&ごあいさつ 横浜市立大学副学長・岡田公夫教授 〈司会：中村彰宏教授〉
10:00 - 10:30	基調講演① 「アジアにおける気候変動の影響と対策」 国立環境研究所・一ノ瀬俊明教授 〈司会：井村秀文教授〉
10:30 - 11:00	基調講演② 「適応のための気候予測－科学とその役割、そして協働」 オーストラリア連邦科学産業研究機構・Dewi G.C. Kirono 主任研究員
2. 研究報告① アジアにおける気候変動の影響評価－日本、インドネシア 〈座長：井村秀文教授〉	
11:00 - 11:30	「日本における気候変動による河川流量と人間社会への影響」 東京都市大学環境学部・大西暁生准教授
11:30 - 12:00	「インドネシア南スラウェシ州マミナサタ広域都市圏の水資源に及ぼす気候変動の影響」 ハサヌディン大学自然遺産研究開発センター・Roland A. Barkey 教授
12:00 - 13:00	昼食
3. 研究報告② アジアにおける気候変動の影響評価－日本、フィリピン 〈座長：大西暁生教授〉	
13:00 - 13:30	「気候変動を考慮した土地利用－気候変動に適応するレジリエントな社会に向けた参加型アプローチによる統合型流域ガバナンスの強化」 フィリピン大学（ロスバニョス校）文理学部生物科学研究所・Damasa M. Macandog 教授
13:30 - 14:00	「アジアにおける気候変動の緩和とレジリエンスに関する研究～参加型地理情報の可能性」 地球環境戦略機構（IGES）・Brian A. Johnson 研究員
14:00 - 14:30	「現状の理解と将来状況のモデル化～土地利用と森林の二酸化炭素隔離」 東京大学空間情報科学研究センター・飯塚浩太郎助教
14:30 - 14:50	「フィリピンローザ川流域におけるライダー分類土地被覆を用いた洪水影響詳細解析」 フィリピン大学（ロスバニョス校）文理学部生物科学研究所・Milben B. Alejandro 研究員
14:50 - 15:10	休憩&コーヒーブレイク
4. 研究報告③ 自治体の取り組みと政策－日本、ベトナム、マレーシア 〈座長：大西暁生教授〉	
15:10 - 15:40	「気候変動に関する日本の地方自治体の取り組み」 東京都市大学環境学部・馬場健司教授
15:40 - 16:10	「ベトナムの都市における極端気象と洪水問題」 ベトナム国家大学ホーチミン市校（人文科学大学）都市計画学部・Dang N. T. Huong 講師
16:10 - 16:40	「マレーシアにおける気候変動対策－課題および挑戦」 マレーシア科学大学人文学部・Ong Ke Shin 研究員
16:40 - 17:00	「地方自治体における気候変動適応策の動向と課題」 横浜市立大学グローバル都市協力研究センター・蔡佩宜特任助教
5. 総括・閉会	
17:00 - 17:30	「全体総括」 横浜市立大学グローバル都市協力研究センター・井村秀文教授
17:30	閉会